



自分自身を曝け出して、泣きじゃくって、やっと自分自身を真っ直ぐに見る事が出来るようになった。

REAL VOICE

約2か月近頃の入院生活。自由にならない自分への身体への苛つき、悔しさ。そんなある日、看護師の一人が夜勤明け、病室まで来てくれてこんな事を言ってくれた。「私はまだ看護師としては新米で、あなたの病気の事も勉強していかないといけない事は山程ある。でもあなたの今抱えている事を少しでも解りたいの」。僕は自然と本当の自分を曝す事が出来た。自分自身を曝け出して、泣きじゃくって、やっと自分自身を真っ直ぐに見る事が出来るようになった気がした。「一人じゃない」と感じられる事は治療の第一歩。

……30代・ゲイ・HIV+

検査を受ける前にも、あとにも、安心して相談を受けられる場所があります。

だれでも問題を抱えることがある。HIVの感染だけでなく、薬物やアルコールのこと、うつなどの精神的な問題。「自分のせいだから…」とってしまったって、誰にも相談できない人もいます。身近な人には、相談できないこともある。だけど、そんなときに声をかけてもらうために待っている人がいる。いろんな人からいろんな相談を受けてきた人たちがいるのです。世の中、どこかに必ずあなたに手を貸してくれる人がいる。まずは、ノックをしてみてください。



みんなの「できる!」でなにかが変わる

「できる!」は、HIVの感染を早めを知るメリットを伝えるキャンペーンです。よりリスクの少ないセックスや、安心して受けられる検査や相談、エイズ発症を予防するための情報を発信します。

治療法は進歩していますが、最新の研究では、ウイルスが変化し、感染から発症までの期間が短くなったという報告もあります。でも、早めを知ることでエイズ発症は防げます。また感染したとしても、これまでの仕事や生活、将来設計を変えることなく続けることができます。「できる!」キャンペーンはみなさんが、みだん迷ったり、避けたり、見ないようにしていたことに、向き合うことを応援します!

くわしくは ⇒ <http://www.hiv-map.net/>



相談を使いこなすことで、状況は変えられるよ

今回は、HIV陽性者とその周囲の人たちへの専任相談員としてぶれいす東京で活動する、生島嗣氏にインタビューを行った。

HIV陽性者のための相談を行っているぶれいす東京では、2009年度、のべ3,000件を超える相談があった。そうした相談に対応する生島氏によると、HIV陽性とわかって不安に感じている、なかなか支援団体につながらないケースもあるとのこと。「理由は人それぞれだと思いますが、やはりセックスなどプライバシーに関わることは他人に言にくいでしょう。また、誰かに頼ることだったり、話をするのが自分をひけらかすようで、抵抗を感じることもあるのかもしれない。」

HIV/エイズは、いまでは効果的な治療法もあって「感染=死」ではなくなった。しかしながら、うまく情報を得ることができずに、不安を抱えている人がたくさんいるのも現状だ。生島氏は言う。「HIVの感染がわかったあとどう生活するかについて、選択できる方法だったりサポートしてくれる場所が、実は思っている以上にあるんだ!」という感想を相談の現場でよく聞くことがあります。だからぜひ相談を、よりよく生活するためのツールとして利用してほしいんですと。

支援団体は有益な情報をたくさん持って準備している。必要なときには本紙の情報などを参考に、相談を使いこなそう!

あんしん検査訪問記 | いろいろなタイプのゲイ・バイの男の人たちに、検査場に行ってレポートしてもらいました。

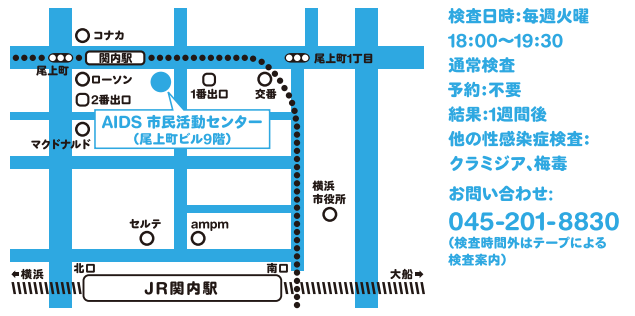
横浜AIDS市民活動センター

訪問した人 Sexuality:ゲイ/Age:10代

僕は大丈夫。若いし、セックスそんなにしてないし、HIVに感染するわけがない。でも、こないだSHIPで、10代で感染した人がいるって聞いて、急にHIVがリアルになった。ひょっとして……僕も感染してる?検査して確かめてみよう。学校帰りに『横浜AIDS市民活動センター』に行った。予約不要で検査時間が午後6時から7時半、関内駅から歩いて1分。便利だ! 仕事帰りの人たちが溢れた大通りを通り抜けてビルの9階の会場に入ると、大きなテーブルがある明るい部屋で、言われなきや検査所ってわからない雰囲気だ。問診票とアンケートに記入すると(もちろん匿名)、すぐに受付番号を呼ばれて問診と採血して終了。待ち時間もなし、思ったよりあっという間だな。

一週間後の火曜日、結果を聞きに行った。結果は「陰性」。ほっとした! でも、今回は大丈夫だけど、感染している可能性だってあったんだよね。これからは、もっと考えようって思った。

※SHIPは、横浜駅西口にあるセクシャルマイノリティのためのコミュニティスペース。詳しくは裏面をご覧ください。



神奈川県横浜市中区尾上町3-39尾上町ビル9階
JR関内駅北口・横浜市営地下鉄線関内駅1番出口徒歩1分

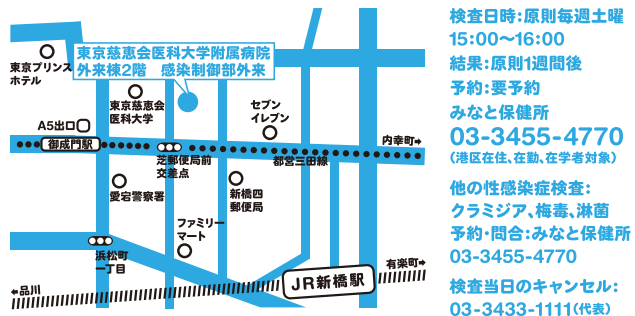
東京慈恵会医科大学附属病院 (外来棟2階 感染制御部外来)

訪問した人 Sexuality:ゲイ/Age:60代

HIVなんて私には関係ない。そう思っていたけれど、行きつけのバーでもらったリーフレットを見てはっとした。「早めに知れば、発症のリスクを下げる事ができる」。人間ドックのように早期発見が大切なんだろう。そう思って検査を受けることにした。

「東京慈恵会医科大学附属病院」を選んだ。土曜日で都合がいいし、ここには別の病気で通ったことがある。電話して手に入れた予約番号をカウンターに告げて受付。待合室は患者でいっぱい。みんな検査なのかと驚いたが、一般診察の人らしい。ここは土曜日午後でも診察しているのだ。だから万が一誰かに見られても、検査を受けに来たとわからないのがいい。

検査の先生は、人当たりがよくて親切だった。慈恵医大はエイズ診療中核拠点病院の1つ。治療の実績も豊富で、感染がわかったときも、そのままここで診察を受けられるのだという。健康と検査のことを考えた。検査は私の人生を考え直す、いいきっかけになった。



東京都港区西新橋3-19-18
都営三田線御成門駅A5出口徒歩3分



HIVべんり電話帳

ゲイによるゲイのためのエイズ電話相談 土曜19~21時	03-5386-1575
エイズ電話相談 日曜13~17時	03-3361-8909
HIV陽性者、パートナー、家族のための電話相談 月曜~土曜13~20時(厚生労働省委託事業)	0120-02-8341
東京都エイズ電話相談 月曜~金曜9~21時 土日祝14~17時	03-3292-9090
エイズ予防財団 エイズ電話相談 月曜~金曜(祝日除く)10~13時、14~17時	0120-177-812 携帯からは03-5259-1815

